PHP



連想配列でkeyに名前を付ける

foreach文では、

連想配列を使用し、

各keyに名前を付ける事も可能です。

```
index.php(phpファイル)
                                          \leftarrow \rightarrow G \triangledown
                                          【A】赤【B】青【C】緑
<?php
$a=array("(A)"=>"赤",
                                                   Keyと値がそれぞれ表示された。
        "【B】"=>"青"。
        "【C】"=>"緑");
                                     連想配列でkeyに名前を付ける。
foreach($a as $key =>$value){
echo $key.$value;
?>
```

```
index.php(phpファイル)
                                        \leftarrow \rightarrow G \triangledown
                                        【日本】東京【韓国】ソウル【中国】北京
<?php
$a=array("日本"=>"東京",
                                                Keyと値がそれぞれ表示された。
        "韓国"=>"ソウル",
        "中国"=>"北京");
                                   連想配列でkeyに名前を付ける。
foreach($a as $key =>$value){
echo $key.$value;
?>
```

```
index.php(phpファイル)
<?php
$a=array("山田"=>"20歳",
        "佐藤"=>"21歳",
        "鈴木"=>"19歳");
foreach($a as $key =>$value){
echo $key.":".$value."<br>";
```

 \leftarrow \rightarrow G \triangledown

山田:20歳

佐藤:21歳

鈴木:19歳

?>

":"という文字列を、\$keyと\$valueの間に 入れ、\$key : \$value を連結する。 さらに、
を最後に入れる事で、 それぞれのkeyと値ごとに改行する。

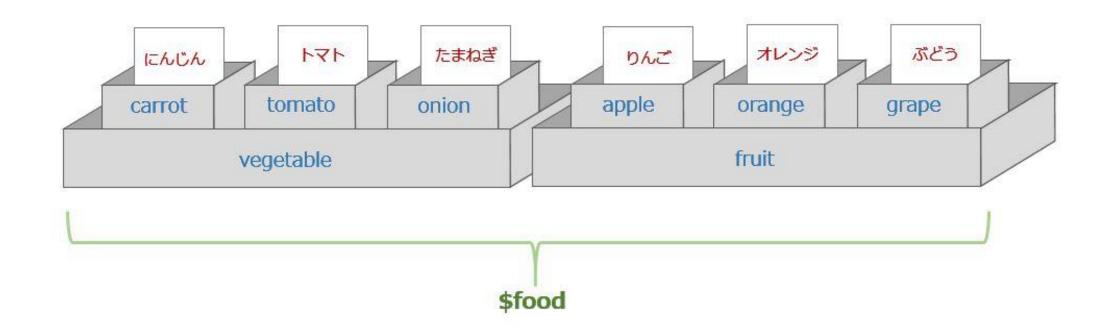
foreach文では、

多次元連想配列(ネスト)と

各keyに名前を付ける事も可能です。

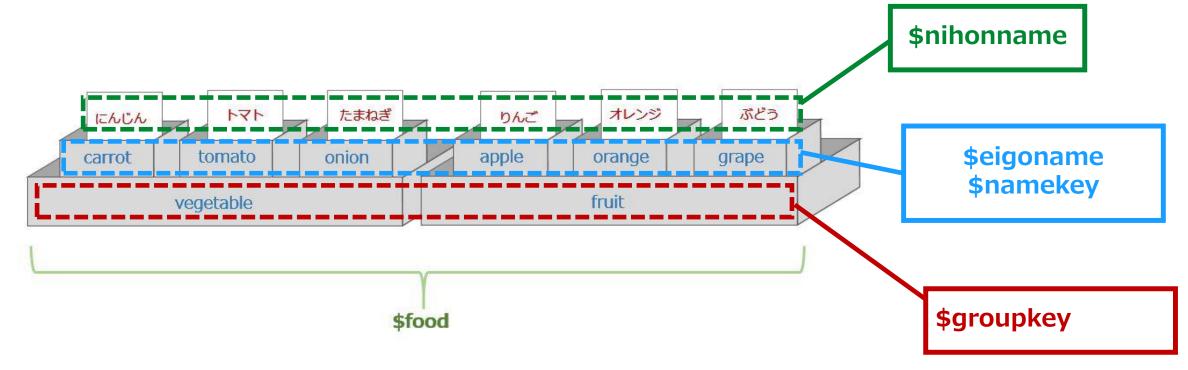
下記のような多次元連想配列を

foreach文で処理をする

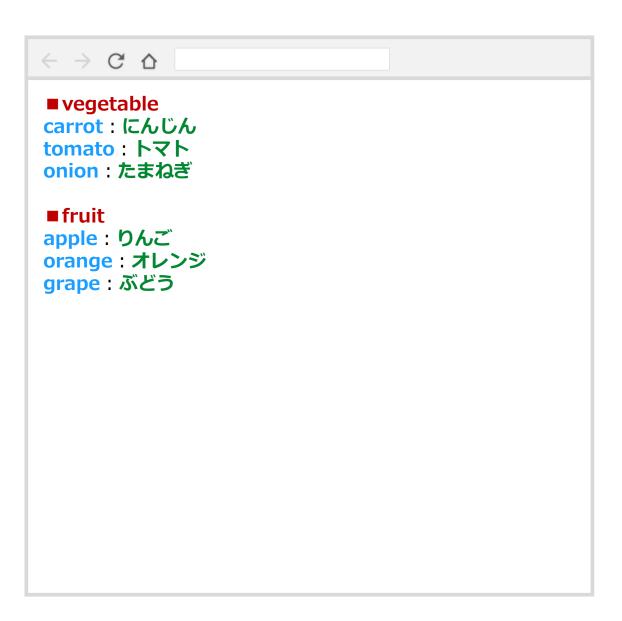


foreach文で処理をする為に

keyと値部分に、右の名前を付ける



```
index.php(phpファイル)
<?php
food = array(
"vegetable" => array("carrot"=> "にんじん",
             "tomato" => "トマト",
             "onion" => "たまねぎ"
"fruit" => array( "apple" => "りんご",
                "orange" => "オレンジ",
               "grape" => "ぶどう"
              ));
foreach( $food as $groupkey => $namekey ){
 echo "■".$groupkey. "<br>";
 foreach( $namekey as $eigoname => $nihonname ){
  echo $eigoname. ": ".$nihonname." < br>";
 echo "<br>";
?>
```



foreach文と配列とソート

foreach文では、

格納した値をソート(値の大きい順/小さい順等)で 処理することもできる。

ソートなしの通常の場合

```
index.php(phpファイル)
<?php
$a=array("d", "c", "b", "a");
foreach($a as $key => $value){
        echo $value."<br>";}
?>
```



ソートありの場合

```
index.php(phpファイル)
<?php
$a=array("d", "c", "b", "a");
sort($a);
foreach($a as $key => $value){
        echo $value."<br>";}
?>
```



ソートの種類

ソートにはいくつかの種類があります

関数の書き方	並べ替えの基準	意味
sort(\$変数)	値(バリュー)	配列\$変数の各値を昇順(小さい順に並び変わった状態)に並べ替える。 前ページで紹介したモノ
rsort(\$変数)	値(バリュー)	配列\$変数の各値を降順(大きい順に並び変わった状態)に並べ替える。
asort(\$変数)	値(バリュー)	配列\$変数の各値を昇順(小さい順に並び変わった状態)に並べ替える。 連想配列において各配列のキーと値との関係を維持しつつ配列をソートします。 主に実際の値の並び方が重要である連想配列をソートするために使われます。
arsort(\$変数)	値(バリュー)	配列\$変数の各値を降順(大きい順に並び変わった状態)に並べ替える。 連想配列において各配列のキーと値との関係を維持しつつ配列をソートします。 主に実際の値の並び方が重要である連想配列をソートするために使われます。
ksort(\$変数)	添字(キー/key)	配列\$変数の各値を昇順(小さい順に並び変わった状態)に並べ替える。 連想配列において各配列のキーと値との関係を維持しつつ配列をソートします。 主に実際の値の並び方が重要である連想配列をソートするために使われます。
krsort(\$変数)	添字(キー/key)	配列\$変数の各値を降順(大きい順に並び変わった状態)に並べ替える。 連想配列において各配列のキーと値との関係を維持しつつ配列をソートします。 主に実際の値の並び方が重要である連想配列をソートするために使われます。

rsort(\$変数)

配列\$aの各値を降順(大きい順に並び変わった状態)に並べ替える

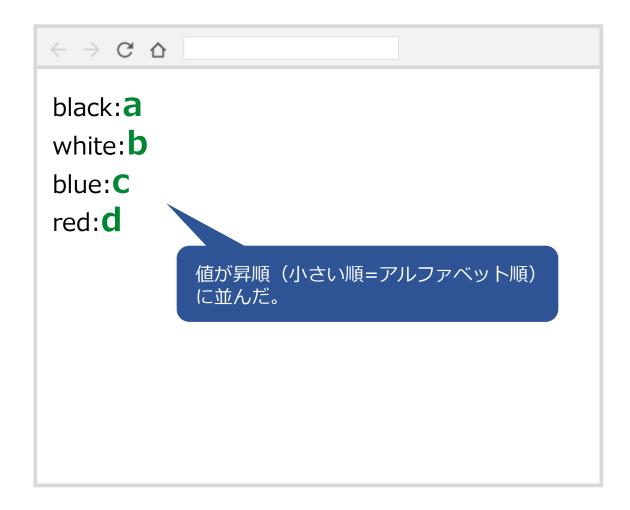
```
index.php(phpファイル)
<?php
$a=array("d", "c", "b", "a");
rsort($a);
foreach($a as $key => $value){
        echo $value."<br>";}
?>
```



asort(\$変数)

連想配列で**各配列のキーと値を維持**した状態で、 配列\$aの各**値を昇順(小さい順**に並び変わった状態)に並べ替える

```
index.php(phpファイル)
<?php
$a=array("red"=>"d",
         "blue"=>"c",
         "white"=>"b",
         "black"=>"a"
asort($a);
foreach($a as $key => $value){
       echo $key.":".$value."<br>";}
?>
```



arsort(\$変数)

連想配列で**各配列のキーと値を維持**した状態で、 配列\$aの各**値を降順(大きい順**に並び変わった状態)に並べ替える

```
index.php(phpファイル)
<?php
$a=array("red"=>"d",
         "blue"=>"c",
         "white"=>"b",
         "black"=>"a"
arsort($a);
foreach($a as $key => $value){
        echo $key.":".$value."<br>";}
?>
```



ksort(\$変数)

配列\$aの各keyを昇順(小さい順に並び変わった状態)に並べ替える

```
index.php(phpファイル)
<?php
$a=array("d", "c", "b", "a");
ksort($a);
foreach($a as $key => $value){
        echo $value."<br>";}
?>
```



krsort(\$変数)

配列\$aの各keyを降順(大きい順に並び変わった状態)に並べ替える

```
index.php(phpファイル)
<?php
$a=array("d", "c", "b", "a");
krsort($a);
foreach($a as $key => $value){
        echo $value."<br>";}
?>
```

